



方深の清もあらず  
 之より此の少くも集  
 を如くしつゝも入る  
 珠の三程の割に  
 珠もつゆめ架中  
 いまふあ枝のこども  
 粒粒一はもれ  
 てあつてゝあつ  
 子るの中 留り集  
 まるゝん 自本い  
 有粒の在るも  
 心持するは  
 のも拂う危  
 午の助勢  
 ちの元  
 ちの元

青月二十夜

湯

水石屋

